

# 2019 年度事業報告書 (2019 年 4 月 ~ 2020 年 3 月)

特定非営利活動法人ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト

## 1. 概要

本年度は、「サラワク州初のコーヒーの生産者組合のモデルケースの構築」の 1 年目でした。まずは、コーヒー専門家の Dr. Chang Jong Yiaw 氏の指導のもと、リベリカ産のコーヒーの果肉から取り出した種(豆)をポット苗に植えて、実生から本葉が出てくる位までの苗木育成の初期段階を、クチン市内近郊の Bau で行った上で、苗木が安定した段階で、コーヒーの農園予定地である Sabal Kruing 村へ運搬し、植込みまでの苗木育成を行いました。苗木育成の初期段階で、苗木の成長に個体差がかなりあったため、段階的に運搬を行わなければならなかったものの、対象地の Sabal Kruing 村では、苗木の各段階の状況を見る事ができて、それぞれの課題も学習出来た。

下半期は、有機栽培推進のためのコンポスト基材を保持供給するためのミニ・コンポスト・センターの設営や生ゴミのコンポスト化の指導を村人の代表者に行いました。また、コーヒー苗木センターの設営を行い、現状の苗木を保管した上で改善点を模索してもらい、来年以降は、村人自身でコーヒーの種より苗木を育てる場所として利用していきます。

育成している苗木の成長が予定より大幅に時間を要し、約半分が農園に植えて良い状態まで成長していないので、まずは、1月に1200本の苗木を植えて、年度をまたいで、残りの苗木は順次植えていく予定にしています。

3月には、Sabal Kruing 村の村人にクチンに来てもらい、Black Coffee Bean 社の焙煎工場の訪問をして、品質管理や輸出用のコーヒー豆の焙煎などを学んでもらいました。

サバル森林保護地区の植林と維持活動は、新規植林を年間 15ha (6000 本 / 8 回) を行い、毎回の維持活動では、2016-2018 の 3 年間で行ったドローンを利用して作成した航空精密地図参照しながら、問題箇所を把握した上で重点的に維持活動をするが可能となり、作業効率が格段に上がりました。

## 2. 作業の詳細

### 1) サラワク州森林局担当者との年度計画の打ち合わせ

日時・場所： 2019 年 4 月 5 日 サラワク州森林局植林部会議室

出席者： Mr. Azahari bin Omar (サラワク州森林局植林部部長),  
Mr. Kos Anak Amud (サラワク州森林局植林部副部長)

Mr. Biha bin Razali (サラワク州森林局植林部課長)

Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長) 延べ 6 名

内容：植林部部長の Mr. Azahari Bin Omar 氏も含め、植林活動の体制やサラワク州森林局の協力内容の確認、活動の問題点や課題に関する打合わせを行いました。

2) サバル森林保護地区近隣の先住民との打ち合わせ

日時・場所： 2019年4月7日 サバル森林保護地区内事務所にて。

出席者： Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)

Mr. Ekin Empati 他村人 15名 延べ 18名

内容： 年間計画における植林の日程や人員動員に関する打ち合わせ。効率の良い時期の設定、先住民の農耕作業との兼ね合いができる日程等の打ち合わせ。「サラワク州初のコーヒーの生産者組合のモデルケースの構築」の対象家族との打合せ。

3) 「サラワク州初のコーヒーの生産者組合のモデルケースの構築」 苗木作成作業

日時、場所 2019年2019年4月~9月 (Bau Taitong 村)

苗木作成 2500本

樹種：リベリカ産コーヒー

・従事者 Dr. Chang Jong Yiau (コーヒー専門家)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)

Mr. Phang Nyat Kiaw 他5名(Bau Taitong 村)

4) サバル森林保護地区での苗作りと苗育成作業 (4~9月を通し)

・日時、場所 2019年4月~9月 サバル森林保護地区の事務所の苗畑センター

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)

先住民 10名

5) サバル森林保護地区の年間 15ha の第 1 回植林活動、及び、維持活動

・日時、場所 2019年5月10日~5月19日 サバル森林保護地区

植林苗木 600本 (1.5ha)

樹種：Shorea Macrophylla

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)

先住民 10名 他

6) サバル森林保護地区の年間 15ha の第 2 回植林活動、及び、維持活動

・日時、場所 2019年6月15日~6月24日 サバル森林保護地区

植林苗木 600本 (1.5ha)

樹種：Dryobaranops sp/ Callophyllum sp.

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)

先住民 10名 他

7) サバル森林保護地区の年間 15ha の第3回植林活動、及び、維持活動

日時、場所 2019年7月05日~7月14日 サバル森林保護地区

植林苗木 600本 (1.5ha)

樹種: Dryobaranops sp/ Callophylum sp.

従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民 10名

8) 立教大学観光学部植林、及び、サバル森林保護地区の年間 15ha の第4回植林活動と維持活動

日時、場所 2019年7月22日~8月5日 サバル森林保護地区

植林苗木 800本 (2.0ha)

樹種: Dryobalanops sp / Artocarpus sp

従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民 10名 他

9) 大分県「NPO 緑の大地の会」による植林活動

日時、場所 2019年8月23日~8月30日 サンパデイ森林保護地区

植林苗木 600本 (1.5ha)

樹種: Shorea Macrophylla

従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民 15名

10) 「サラワク州初のコーヒーの生産者組合のモデルケースの構築」 苗木運搬作業

日時、場所 2019年9月11日 (Bau Taitong 村から Sabal Krusing 村へ)

苗木作成 1000本

樹種: リベリカ産コーヒー

従事者 Dr. Chang Jong Yiau (コーヒー専門家)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

Mr. Phang Nyat Kiaw 他5名 (Bau Taitong 村)

Mr. Ekin Empati 他 (Sabal Krusing 村)

11) サバル森林保護地区の年間 15ha の第5回植林活動、及び、維持活動

日時、場所 2019年9月12日~9月21日 サバル森林保護地区

植林苗木 600本 (1.5ha)

樹種: Shorea Macrophylla

従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NP100,000 ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民 10名 他

12) サバル森林保護地区の年間 15ha の第 6 回植林活動、及び、維持活動

日時、場所 2019年10月7日~10月20日 サバル森林保護地区

植林苗木 1,200本(3.0ha)

樹種: Shorea Macrophylla Dryobaranops beccarii

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民族 10名 他

13) 「サラワク州初のコーヒーの生産者組合のモデルケースの構築」 苗木運搬作業

日時、場所 2019年10月27日 (Bau Taitong 村から Sabal Kruing 村へ)

苗木作成 900本

樹種: リベリカ産コーヒー

・従事者 Dr. Chang Jong Yiau (コーヒー専門家)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

Mr. Phang Nyat Kiaw 他5名(Bau Taitong 村)

Mr. Ekin Empati 他 (Sabal Kruing 村)

14) サンパディ森林保護地区での維持活動

日時、場所 2019年10月28日~11月2日 サンパディ森林保護地区

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民族 5名

15) 「サラワク州初のコーヒーの生産者組合のモデルケースの構築」

有機肥料栽培指導 ミニ コンポスト センター設営と生ゴミコンパクト作成指導

日時、場所 2019年11月7日~20日 (Sabal Kruing 村)

従事者 Dr. Chang Jong Yiau (コーヒー専門家)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

Mr. Ekin Empati (Sabal Kruing 村)他4名

16) 「サラワク州初のコーヒーの生産者組合のモデルケースの構築」

コーヒー苗木センターの設営

日時、場所 2019年11月30日~12月1日 (Sabal Kruing 村)

・従事者 Dr. Chang Jong Yiau (コーヒー専門家)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

Mr. Ekin Empati (Sabal Kruing 村)他4名

17) サバル森林保護地区の年間 15ha の第 7 回植林活動、及び、維持活動

日時、場所 2019 年 12 月 4 日~12 月 17 日 サバル森林保護地区

植林苗木 1,200 本 (3.0 ha)

樹種: Shorea Macrophylla / Dryobaranops beccarii

従事者 Mr. Jonathan Lat ( サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民族 10 名 他

18) 「サラワク州初のコーヒーの生産者組合のモデルケースの構築」 コーヒー苗木の植林

日時、場所 2020 年 1 月 8 日~1 月 17 日 (Sabal Kruing 村)

苗木作成 1,200 本 樹種: リベリカ産コーヒー

・従事者 Dr. Chang Jong Yiaw (コーヒー専門家)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

Mr. Ekin Empati (Sabal Kruing 村)他 5 名

19) サバル森林保護地区の年間 15ha の第 8 回植林活動、及び、維持活動

日時、場所 2020 年 2 月 10 日~2 月 16 日 サバル森林保護地区

植林苗木 400 本 (1.0 ha)

樹種: Dryobaranops beccarii

・従事者 Mr. Jonathan Lat ( サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民族 10 名 他

20) 「サラワク州初のコーヒーの生産者組合のモデルケースの構築」

Sabal kruing 村人のコーヒー焙煎工場見学

日時、場所 2020 年 3 月 13 日 (Black Bean Coffee 社)

・従事者 Dr. Chang Jong Yiaw (コーヒー専門家)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

Mr. Ekin Empati (Sabal Kruing 村)他 9 名

21) サバル森林保護地区での苗作りと苗育成作業 (10~3 月を通し)

日時、場所 2019 年 10 月~2020 年 3 月 サバル森林保護地区の事務所の苗畑センター

・従事者 Mr. Jonathan Lat ( サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民 10 名

以上